

全国学力・学習状況調査から見える花巻市の状況

～平成29年度全国学力・学習状況調査結果と改善の方向性～(花巻市教育委員会)

平成29年度全国学力・学習状況調査が4月18日(火)に小学6年生(793人)、中学3年生(837人)を対象に実施され、結果が8月28日(月)に公表されました。花巻市の状況をお知らせします。

平成29年度 教科調査の結果(小学6年生、中学3年生) ー全国・県との比較からー

◆平成29年度教科調査平均正答率一覧 ※正答率は、小数点以下は四捨五入して、整数値で示しています。【単位%】

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B	中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
花巻市	77	59	80	45	花巻市	80	73	62	47
岩手県	77	60	81	45	岩手県	78	72	60	45
全国	75	58	79	46	全国	77	72	65	48

【小学校】 全国との比較でおおむね好ましい傾向

全国平均正答率との比較では国語A、国語B、算数A問題で1～2%上回り、算数B問題で1%下回りました。県平均正答率との比較では国語A、算数B問題で同等、国語B、算数A問題で1%下回りました。全国との比較では算数B問題を除いておおむね好ましい状況ですが、県との比較では国語B、算数A問題で改善が望まれます。

【中学校】 全国、県との比較でさらに改善の傾向

全国平均正答率との比較では国語A、国語B問題で1～3%上回り、数学A、数学B問題で1～3%下回りました。県平均正答率との比較では国語A、国語B、算数A、算数B問題すべてで1～2%上回りました。県との比較ではすべての教科で好ましい状況ですが、全国の比較では数学A、数学B問題で改善が望まれます。

◆中学校の県比・全国比の経年比較

※数値は、全国や県を100に換算して、花巻市との差を表しています。

県比	国語A	国語B	数学A	数学B	全国比	国語A	国語B	数学A	数学B
29年度	+2	+1	+2	+2	29年度	+3	+1	-3	-1
28年度	0	+1	+1	+1	28年度	+1	+1	-3	-3
27年度	-2	-3	-1	-2	27年度	-2	-4	-6	-6

平成27年度に策定した「花巻市学力向上アクションプラン」では、特に中学校の学力向上を目標に掲げています。中学校の状況をみると、平成27年度の時点では全国や県と比較してすべての教科で下回っていましたが、平成28年度に国語、数学ともに改善傾向がみられ、本年度は国語、数学ともにさらに好ましい傾向に推移しています。

平成29年度 児童生徒質問調査の結果(小学6年生、中学3年生) ー全国・県との比較からー

児童生徒質問紙調査は、普段の生活や学習の様子について、小学校92項目、中学校94項目を調査したものです。

【花巻市の児童生徒が共通に全国・県を上回る項目】 基本的な生活習慣、人としての有様、「国語」に係る学習

- ・毎日、朝食を食べている
- ・将来の夢や希望を持っている
- ・学習塾で勉強していない
- ・テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている
- ・学校で、友達に会うのは楽しい
- ・今住んでいる地域の行事に参加している
- ・友達との約束を守っている
- ・人が困っているときは進んで助けている
- ・「国語」の授業の内容がよく分かる
- ・読書は好き

【花巻市の児童生徒が共通に全国・県を下回る項目】 家庭学習習慣、「算数・数学」に係る学習

- ・普段、2時間以上勉強している
- ・学校が休みの日に、2時間以上勉強している
- ・家で、学校の授業の予習をしている
- ・「算数・数学」の勉強は好き

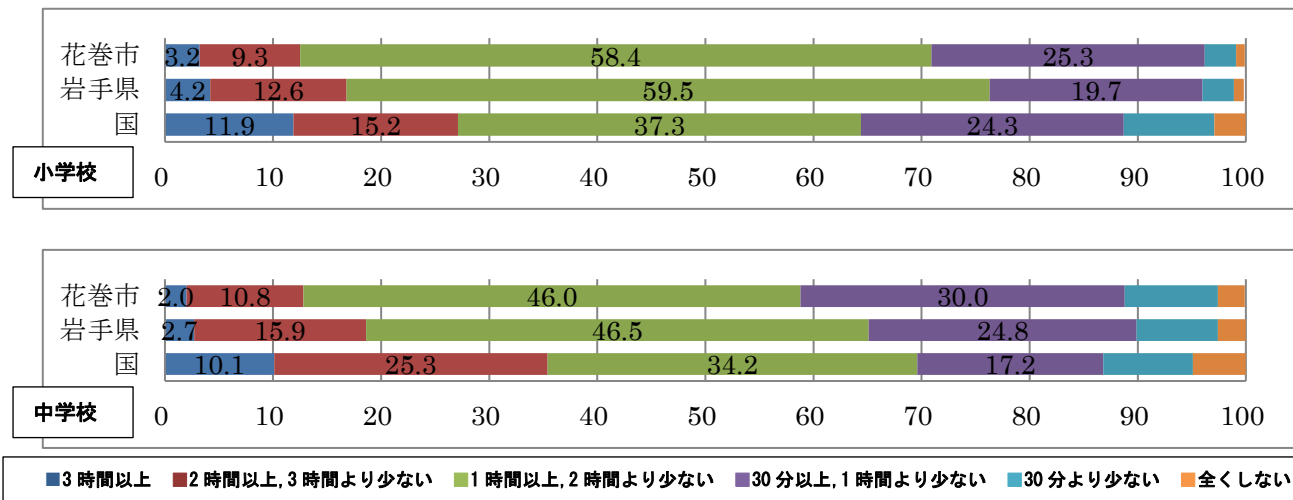
【新規調査項目 中学校部活動の状況】 運動部への参加が全国・県を上回る

本年度、中学校に「学校の部活動に参加していますか」が新たに加えられ、運動部への参加は花巻市83.2%、県78.2%、全国66.7%、文化部への参加は花巻市14.0%、県17.1%、全国19.9%で、花巻市は運動部に参加する生徒が多いことが分かりました。「普段、2時間以上、部活動をしているか」については、花巻市41.4%、県35.7%、全国55.6%で、花巻市は、全国より少なく、県より多くなっていました。

児童生徒質問紙調査に見られる課題（小学6年生、中学3年生）—全国・県との比較から—

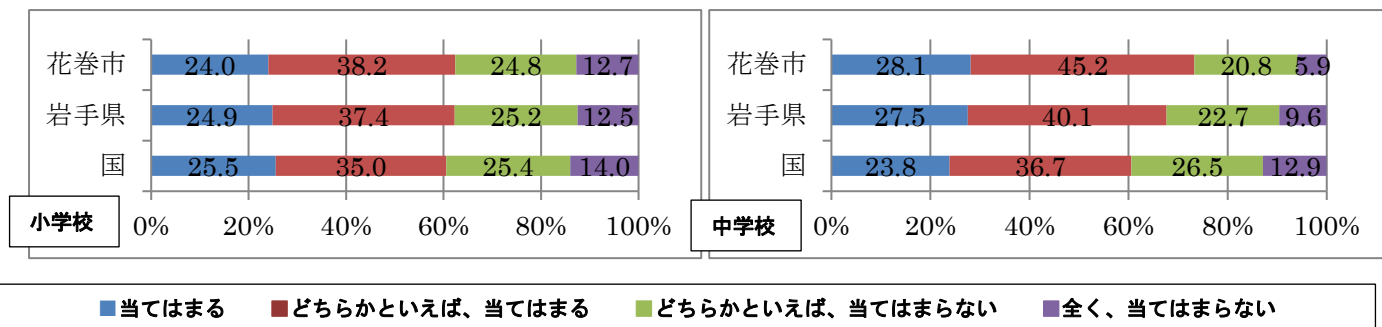
児童生徒質問紙調査の結果、花巻市の児童生徒は、基本的な生活習慣、人としての有様、「国語」に係る学習等について好ましい傾向を示す半面、家庭学習習慣、「算数・数学」に係る学習等について課題がみられます。ここでは、課題の家庭学習習慣の状況と「国語」との比較で「算数・数学」に係る意識を取り上げ、今後の方策を検討します。

◆学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日どれくらいの時間勉強しますか（学習塾、家庭教師に教わるも含む）

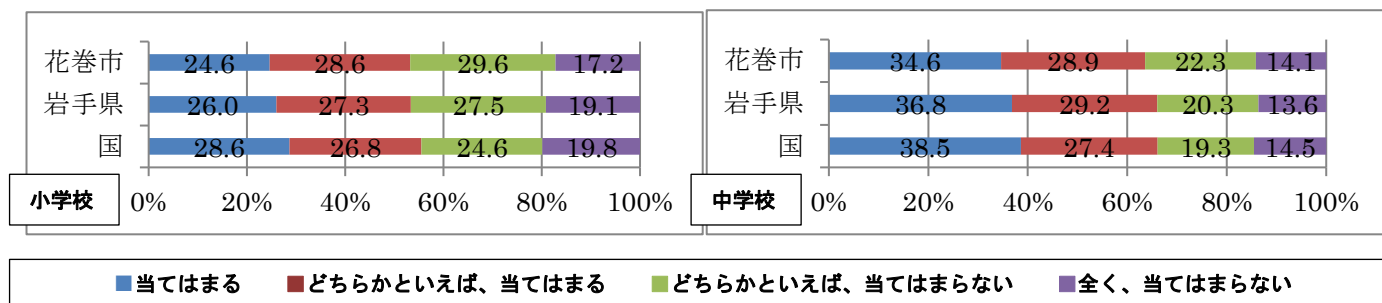


花巻市の児童生徒は、今年度も、全国や県に比べて家庭学習時間が短くなっています。小学校では、1時間以上家庭学習に取り組む割合で全国を上回るものの、2時間以上になると全国や県を下回ります。中学校では、2時間以上家庭学習に取り組む割合が全国や県を下回り、1時間以上でも下回ります。市内の小中学校の1時間以上家庭学習している割合を比較すると、中学校が小学校を下回っており、特に中学生の家庭学習時間が短いことが気になります。

◆国語の勉強は好きですか



◆算数・数学の勉強は好きですか



小学校では、「国語が好き」に比べて、「算数が好き」と答える割合が全国や県を下回っていることが分かります。中学校では、「国語が好き」と答える割合は全国や県より多くなっていますが、「数学が好き」と答える割合が全国や県を下回っていることが分かります。全国と比較すると、平均正答率が高い「国語」では肯定的な意見が多く、一方、平均正答率が低い「算数・数学」では肯定的な意見が少ないことが気になります。

教科調査と児童生徒質問紙調査の関連から見えること—クロス集計の結果から—

◆教科調査における平均正答率の全国比の状況

※数値は、全国や県を100に換算した時の花巻市の値です。

小学校	28年度	29年度	中学校	28年度	29年度
国語A	100.0	102.9	国語A	100.7	103.4
国語B	102.8	102.6	国語B	100.9	101.1
算数A	100.6	101.8	数学A	95.0	96.0
算数B	99.4	98.0	数学B	93.0	97.7

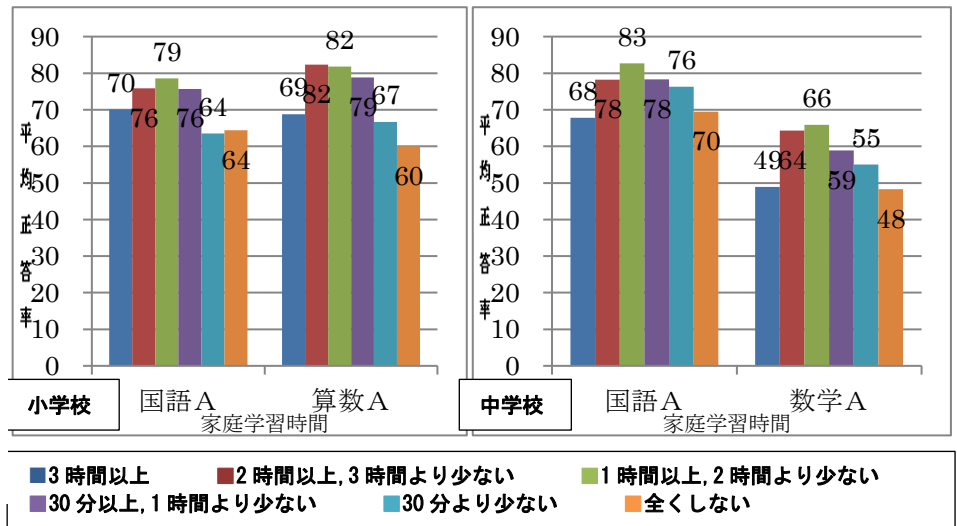
教科調査の結果について、改めて花巻市の現状を全国比で示しました。この表から、**花巻市は、特に「算数・数学」に課題**があることがわかります。

以下のグラフは、児童生徒質問紙調査で課題があった「家庭学習に取り組んでいる時間」や「国語、算数・数学が好きかの割合」について色分けして示し、それぞれの平均正答率を比べたものです。

◆学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日どれくらいの時間勉強しますか（学習塾、家庭教師に教わるも含む）

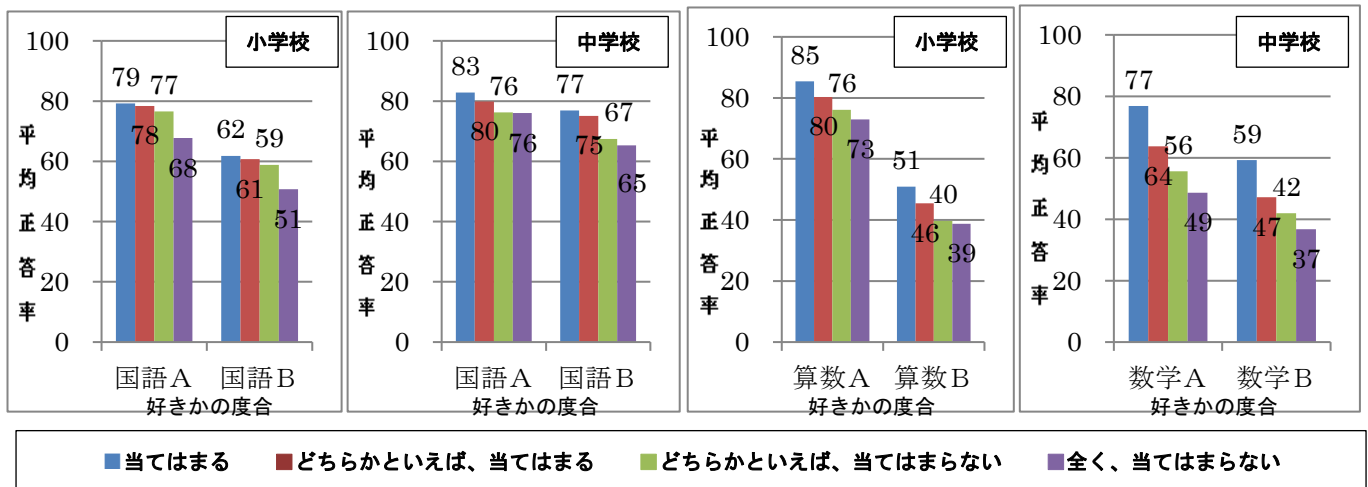
教科調査の平均正答率と家庭学習時間の相関を表した右のグラフから、教科調査の平均正答率は、「国語」より「算数・数学」で家庭学習時間の影響を強く受ける傾向があります。

課題の「算数・数学」の学力保障のためには、特に家庭学習を充実する取組が不可欠と言えます。



◆国語の勉強は好きですか

◆算数・数学の勉強は好きですか



教科調査の平均正答率と「国語が好き」「算数・数学が好き」の相関を表した上のグラフから、特に中学校の教科調査の平均正答率は、「国語」より「数学」で「教科が好きか」の影響を強く受けている傾向があります。

中学校「数学」の授業改善に際しては、「数学」が分かりできるようになること、「数学」に興味関心を持ち「数学が好き」と答える生徒を増やすことが大切と言えます。

平成27年度に策定した「花巻市学力向上アクションプラン」に基づいて、各学校では学校毎の「学力向上アクションプラン」を作成して学力保障の取組を推進しています。今年度の教科調査の結果から、「学力向上アクションプラン」に基づいた計画的な取組の推進により、特に中学校で改善の傾向が顕著にみられました。

また、平成28年度のクロス集計の分析からは、日常の規律正しい学校生活や積極的・意欲的な授業に向かう態度、規則正しい家庭生活のあり方が、学力保障に大きく影響を与えるということを確認し、学校、家庭、地域の取組に生かしていただきました。今年度の児童生徒質問紙調査では、基本的な生活習慣、人としての有様、「国語」に係る学習について好ましい傾向にあることが分かり、取組の成果が表れています。

一方、昨年度の課題でもあった家庭学習習慣、「算数・数学」に係る学習については、引き続き改善すべき課題となっています。本年度は、これらの課題に焦点を当てて全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題解決を目指そうと考えています。学校、家庭、地域では、それぞれの機能を生かし、引き続き以下の取組にご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

学校では

以下の三つの取組を続けることで、学力向上に努めます。

- 1 学級、学年、教科指導で児童生徒が落ち着かない状態になると、各種学力調査の結果で低迷する傾向があることから、**学級、学年、教科指導の学習環境や生活環境の安定が学力保障の土台であり、万が一落ち着かない状況が見られた場合は、組織的に速やかな収束に努めること**
- 2 学習内容により設問別正答率にばらつきが見られること（すべての教科に共通する傾向があり、特に「算数・数学」で顕著）から、すべての教員は**各種学力調査の問題を把握し、結果を自らの指導実践と関連付け、回復指導に生かすとともに落ち込みの大きい学習内容の授業改善に努めること**
- 3 学力が高い集団は、全体として相応の家庭学習を行っている事実から、**児童生徒には発達段階に応じた学ぶ目的意識を持たせたり、学校教育活動とリンクして家庭学習の取組をしたり、家庭と連携して児童生徒の家庭学習の内容や仕方を身に付けさせたりすること**

家庭では

児童生徒質問紙調査で好ましい傾向を確認できた「基本的な生活習慣」については、各ご家庭で育てていただいている成果と受け止めています。

お子様と家族との対話を絶やすことなく、お子様が健全な生活を送ることができるように、引き続きご支援をお願いします。

特に、課題の「家庭学習習慣」につきましては、**学校と手を携えてお取り組みくださるようお願いいたします。**

地域では

花巻市の児童生徒は、全国や県と比べて、今住んでいる地域の行事によく参加しています。

児童生徒質問紙調査で明らかになった「人としての有様」に係る好ましい傾向は、地域社会全体で育てていただいている成果と受け止めています。

特に、**中学校区単位の教育振興協議会等の組織を有効に活用して、学校、家庭と連携して児童生徒の健全育成とともに学力保障の取組にお力添えをくださるようお願いいたします。**

花巻市教育委員会では、「花巻市学力向上アクションプラン」の確実な遂行を継続して参ります（「花巻市学力向上アクションプラン」は、ホームページ上にアップロードしていますので、ご参照ください）。また、各学校の「学力向上アクションプラン」の推進を積極的に支援して参ります。併せて、今年度の全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった成果や課題を分析して、課題解決の方策を具体化して次年度の教育施策に反映して参ります。